

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

資料1

# 第3次佐賀県がん対策 推進計画の進捗等

令和5年9月1日（金）

佐賀県 健康福祉部 健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室

# 全体目標

ほっとかないで、  
ほっとしよう。  
佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- ・ がん予防の普及啓発等によるがん罹患者の減少
- ・ 早期発見・早期治療の促進によるがん死亡者の減少

## 2 患者本位のがん医療の実現

- ・ ゲノム医療など個人に最適化されたがん医療の実現
- ・ がん医療の質の向上、がん医療の均てん化・集約化、効率的かつ持続的ながん医療の実現

## 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- ・ 地域社会で必要な支援を受けることができる環境整備
- ・ 安心して、尊厳を持って自分らしく生きることができる地域共生社会

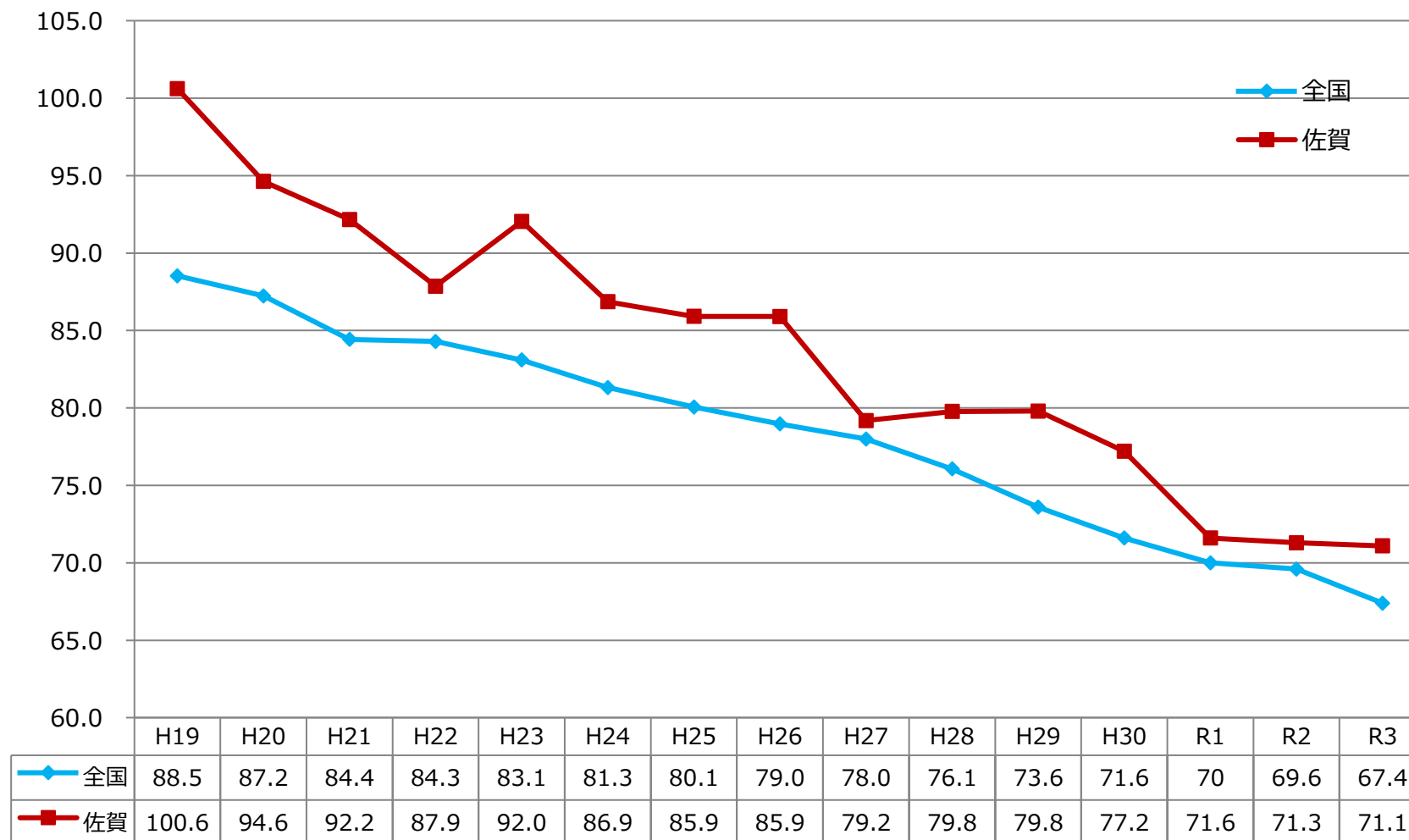
⇒ これらの目標に向け、分野別の施策を推進

# 主な指標の状況

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## ◎ 75歳未満年齢調整死亡率の推移（全がん）



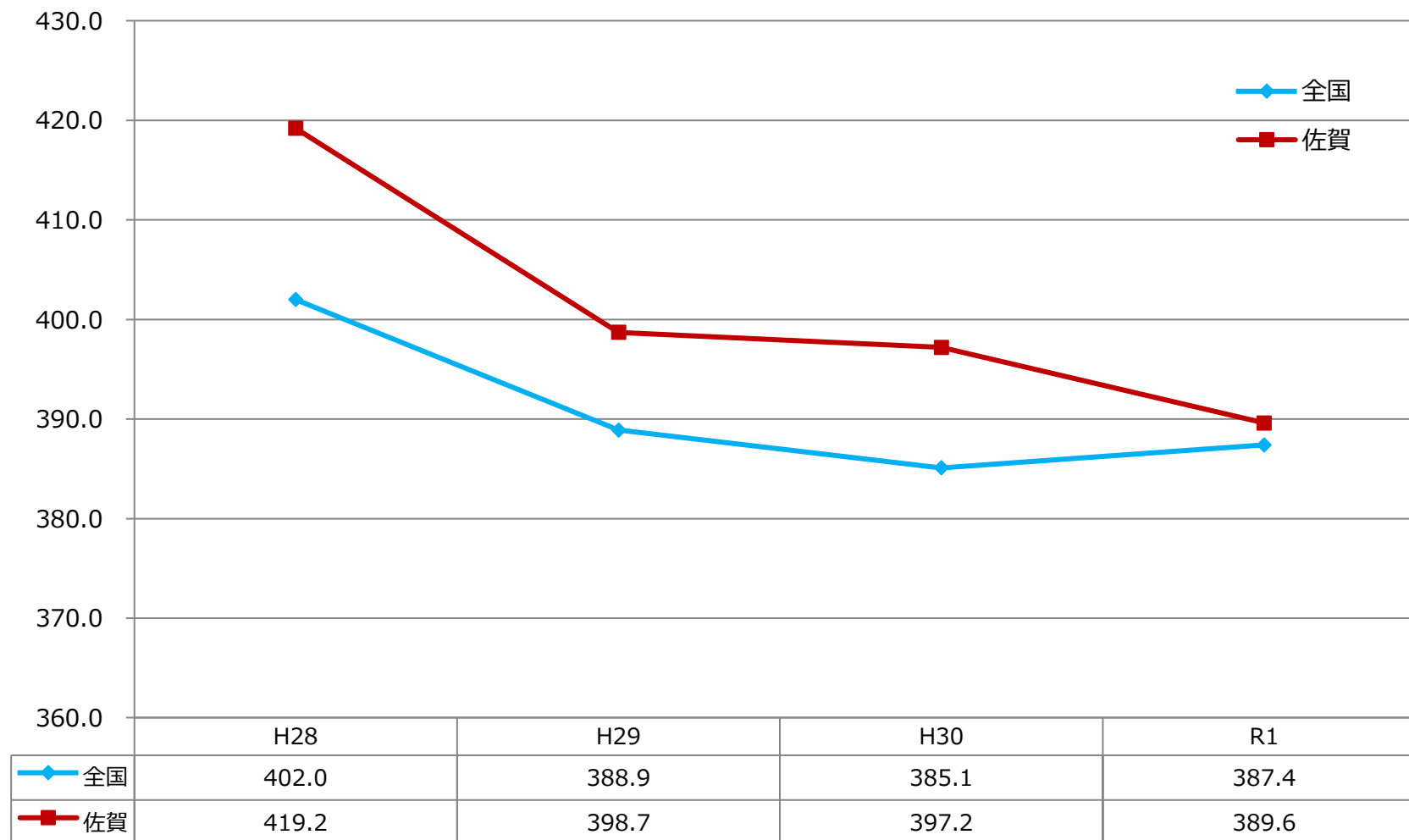
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

# 主な指標の状況

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## ◎ 年齢調整罹患率（全がん）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

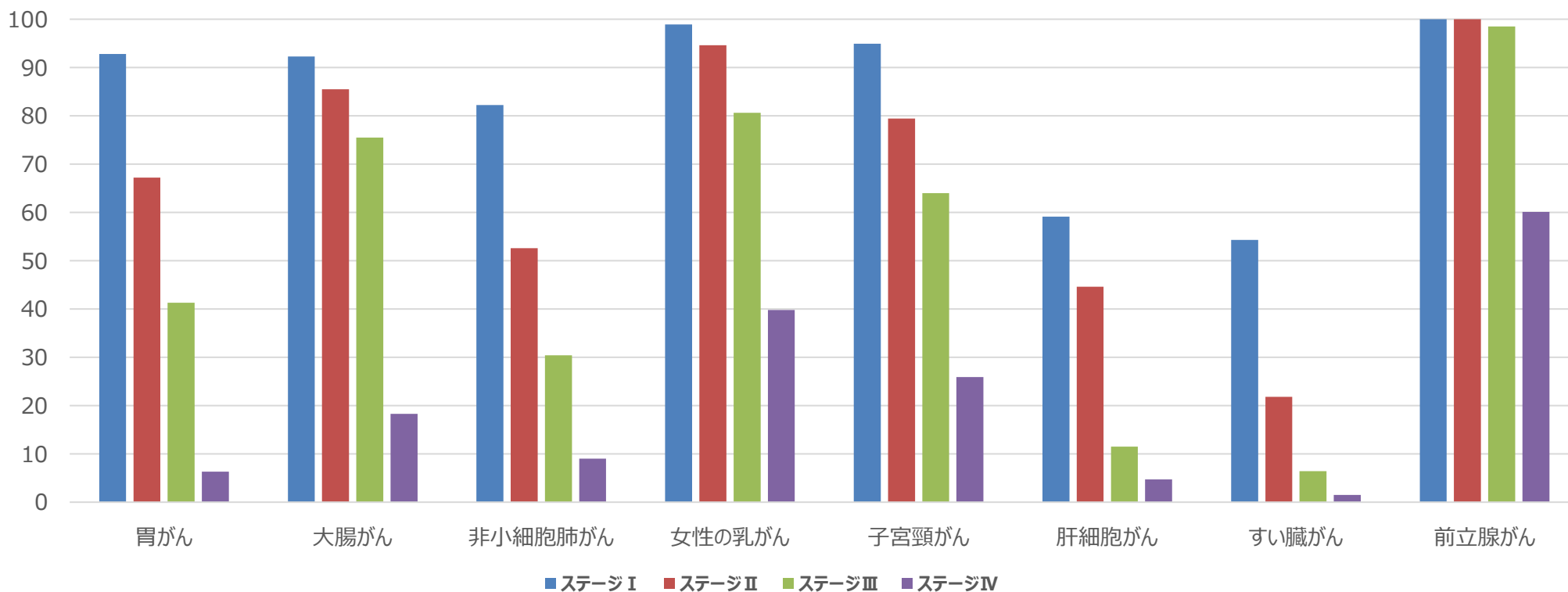
# 主な指標の状況

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## ◎ 院内がん登録 5 年後生存率

- ・「がんのみが死因となる場合の生存率」自体を推定可能
- ・生存率の過大評価を是正
- ・国際的に用いられている方法



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

### ○ がんの一次予防（生活習慣）

- R1.10から「さが健康維新県民運動」を開始
  - R 1 ～：健康づくり活動（ウォーキング、健診等）を推進するアプリ「SAGATOCO」配信開始  
→ 10万DL（R5.9時点）
  - R 2 ～：「食と栄養」を中心に、「ベジスタ！ SAGA VEGETABLE START project」開始
  - R 3 ～：歯科健診でからだを守る「くちパト！」開始
  - R 4 ～：企業内チームで禁煙を目指す「卒煙ジュエル！」開始
- 全体の喫煙率は低下（H28：21.7%→R1：21.2%）  
女性単独の喫煙率は上昇（H28：7.4%→R1：7.5%）
- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合は上昇  
（H28：9.1%→R 2：11.5%）

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。  
佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

### ○ ウイルス性肝炎・肝がん対策

- ・ 肝疾患に関する理解啓発の促進
  - 世界肝炎デーに合わせ、佐賀大学肝疾患センターと共同で、関係機関と連携した啓発（「世界肝炎デーin佐賀」啓発イベント実施（H30・R1・R5）、「佐賀肝聞」、「最近の肝臓病Topics」新聞折り込みタブロイド紙の発行（R2～R4）
- ・ 職域の健康診断において肝炎ウイルス検査の受検促進
  - 協会けんぽ加入者を対象とした無料肝炎ウイルス検査事業を実施（H30～）  
H30には7,298件と、H29（786件）の9.3倍に受検者増
- ・ 肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査、抗ウイルス治療後等の定期検査の受診促進
  - 各種資材作成による啓発、広告掲載等の広報を実施

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

### ○ その他の感染症対策

- 中学3年生を対象としたピロリ菌検査や除菌の実施（H28～）  
→ H28～R5.3末：検査実施 51,265人、治療実施 1,071人  
検査参加率は上昇しており、R4は92%が参加
- 市町の子宮頸がん検診において、罹患率が高い30～44歳を対象にHPV（ヒトパピローマウイルス）検査を併用し、その検査費用を無料化（R1～）  
→ R1の事業対象年齢層の検診受診者は16.1%増加、92.7%がHPV検査を受診（12,041人）  
4年間で延べ36,796人検査を実施
- HPVワクチン接種状況について  
→ R1:153名、R2:1,170名、R3:3,237名、R4:9,320名（キャッチアップ5,084名）



# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。  
佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

### ○ 受診率向上対策等

- ・ テレビCM、新聞、HP、ラジオ、SNS、広報誌等を用いた普及啓発やイベントなどでのPR
- ・ 特に働く女性等を対象として、「ほっとかないで、ほっとしよう。」、「がん検診は不要不急じゃない。」をキャッチフレーズに展開
- ・ ロシュ・ダイアグノスティクス(株)との「女性をがんから守る連携協定」(R1～)
- ・ 「Sagan Beauty Book」による普及・啓発 (R2～)
- ・ 対策型胃内視鏡検診の広域化を実施 (R4～)
- ・ 市町におけるレディースデー検診の実施  
→ H30 : 16市町、R1 : 15市町、R2 : 18市町、R3 : 13市町、R4 : 13市町

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。  
佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

### ○ がん検診の精度管理

- 市町及び市町委託の検診機関のチェックリストをとりまとめ市町毎に評価
- 検診受診率、がん発見率等のプロセス指標を市町毎に評価  
→ がん検診の実施体制、精度を評価し、各市町へフィードバック
- がん検診精密検査受診率（胃、肺、大腸、乳、子宮）  
→ 乳がん（94.9%）は目標の90%を達成。  
他は、胃がん（88.5%）、肺がん（87.5%）、大腸がん（77.2%）、子宮頸がん（77.2%）

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 2 患者本位のがん医療の実現

### ○ がんゲノム医療提供体制の整備

- ・ がんゲノム医療連携病院の指定（2 医療機関）  
→ H30.4：佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館
- ・ がんゲノム診療部門の開設（R3：佐大医学部附属病院）
- ・ がんゲノム医療体制整備補助金（R3～：佐大医学部附属病院）

### ○ 重粒子線がん治療の推進

- ・ 九州国際重粒子線がん治療センター（サガハイマツ）での治療患者数は着実に増加
- ・ がん先進医療を受ける県民に対して、治療費助成や利子補給を実施

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。  
佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 2 患者本位のがん医療の実現

### ○ 口腔ケア研修会の開催

- がん診療に携わる医師等のオーラルケアマネジメントに対する理解を深め、  
歯科との連携を推進するため口腔ケア研修会を開催  
→ H30 : 80名、R2 : 88名、R3 : 91名、R4 : 104名が参加

※R1は新型コロナウイルス感染拡大により中止

### ○ 小児・AYA世代のがん対策

- 将来子どもを産み育てることを希望されるがん患者に対して、治療に際して  
行う妊孕性温存治療費の一部を助成 (R2: 4件、R3: 9件、R4: 9件、R5: 3件)
- 末期がん患者が住み慣れた自宅で安心して療養生活を送れるよう、自宅  
療養費用の一部を助成 (R2: 5件、R3: 9件、R4: 7件、R5: 3件)
- 定期の予防接種で得た免疫が造血細胞移植によって減衰・消失し、再接  
種が必要となった方に対する再接種費用を助成 (R2: 3名、R3: 4名、R4: 4名)

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 2 患者本位のがん医療の実現

### ○ がん登録

- ・ 全国がん登録及び地域がん登録について、高い登録精度から、全国がんモニタリング集計において、「推計対象地域」となる基準を満たす状態を継続中

## 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

### ○ 緩和ケア研修

- ・ 拠点病院におけるがん患者の主治医等となる者のうち、緩和ケア研修を修了した者の割合

→ H30 : 85%、R1 : 87.4%、R2 : 76.1%、R3 : 79.9%、R4 : 75.0%

※R2は新型コロナウイルス感染拡大により1病院のみ研修実施のため割合低下

- ・ がん看護研修へのELNEC-Jの導入

→ H30 : 44人、R1 : 57人、R2 : 67人、R3 : 60人、R4 : 52人

### ○ 相談支援及び情報提供

- ・ 唐津、鳥栖、多久、杵島（江北）の4地区でがんサロンを開設、がん患者等のつどいの会の開催

- ・ チラシ、イベント等でのがん相談支援センターの活動周知

- ・ 相談支援センター（さん愛プラザ、4拠点病院）への相談件数

→ R2 : 9,670件、R3 : 9,633件、R4 : 9,330件

## 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

### ○ がん患者の就労・教育支援等

- がん検診向上サポーター企業等、関係団体との連携  
→ サポーター企業の登録事業所数は、目標である2,200事業所を突破  
(R4 : 2,201事業所)
- 4 拠点病院全てに就職支援ナビゲーターによる相談体制が整備  
→ 相談件数 H30 : 85件、R1 : 90件、R2 : 92件、R3 : 131件、R4 : 98件
- 県がん総合支援センター（さん愛プラザ）へのソーシャルワーカーの配置  
(R2～)
- 入院中の修学を希望する県立中高の生徒に対し、入院時学習  
支援員を派遣  
→ 実績 R1 : 1名、R2 : 1名、R3 : 0名、R4 : 0名

# 分野別の主な施策

ほっとかないで、  
ほっとしよう。

佐賀県はがん検診受診を推進しています。

## 4 これらを支える基盤の整備

### ○ 人材育成

- ・ がん診療に関する資格取得者数  
→ 専門医（拠点病院）、認定看護師、専門薬剤師等の数は全体として微増
- ・ 歯科医師会との連携による口腔ケア研修、県看護協会と連携したがん看護研修の実施

### ○ がん教育

- ・ 県教委（保健体育課）が取り組む、がん教育施策との連携  
→ がん教育に関する協議会の開催、がん教育指導者研修会の開催、県内小・中・高等への外部講師の派遣などを実施